

2015年11月24日

課外活動専門委員会 御中

大学祭開催期間変更に関する検討結果報告

北海道大学大学祭全学実行委員会

10月23日に開催された本実行委員会と課外活動専門委員会との第6回意見交換会では、学生支援課から、平成28年度以降のカリキュラム変更に関して7月中に授業を終了するという目標を実現する為の方策、及び平成28年度全学教育科目の学事暦を踏まえた説明があり、課外活動専門委員会からそれらに伴う大学祭開催期間変更の依頼が再度なされました。また、第6回意見交換会の場で提案された「平成29年度以降の授業開始日の早期化に伴う入学式の前倒しが実施された段階で大学祭の開催期間を1日短縮する」という案について本実行委員会内で検討を行いました。検討結果につきまして、ここに以下の通り報告させていただきます。

記

本件に関して、本実行委員会としては、夏季休業日の早期化に伴った確保しなければならない具体的な授業日数、及び大学祭開催期間変更の必要性の説明を求めてきた。それらに関しては、第6回意見交換会にて大学側から提示された資料をもって、平成28年度以降のカリキュラム変更についてある程度合理的な説明をいただけたと認識している。

平成28年度の開催期間に関しては、大学側から提示された方策のみでは7月中に授業を終了することは困難であることは明白であり、また平成28年度の大学祭に向けた準備も本実行委員会内で進んでいることなどから、来年度から開催期間を1日短縮することには継続して反対である。しかし、授業開始日の早期化に伴う入学式の前倒しが実施されるであろう平成29年度以降については、7月中に授業を終了することが実現できる可能性が高いとの説明であった。そのため、本実行委員会としては今後大学側とも協働して、より北海道大学の発展に寄与していくことを目指し、入学式の前倒しが実施される年度に大学祭開催期間を1日短縮することを決定した。

ただ、上記のような大学祭開催期間の短縮に伴い、大学祭が悪影響を被ることは避けられないことも事実である。また、将来的な状況の変化により大学祭開催期間変更の必要性が再度生じる可能性も否定出来ない。これらを踏まえ、本実行委員会としては課外活動専門委員会に以下の項目を承認していただくよう求める。

- 一、大学祭開催期間の1日短縮は7月中に授業を終了できる見込がある場合にのみ、具体的には入学式の前倒しが実施可能な年度から行うこと。
- 一、今後、大学祭に関して何らかの変更が必要な事態に際しては、必ず本実行委員会の了承を得てから行うこと。

以上